

教育委員会定例会（平成18年12月）会議録

1. 日 時	平成18年12月11日(木) 16:00 ~ 17:05
2. 場 所	新居浜市庁舎 3階 応接会議室
3. 出席者	委員長 太田 恵理子 委員 栗田 敬子 小野 正師 宇野 征一 教育長 阿部 義澄 事務局長 鎌田 眞太郎 総括次長 池内 貞二 次長 佐藤 弘美子 課長 高橋 康文 岩崎 幸夫 近藤 清治
4. 教育長の 一般報告	(1) 11月分行事報告及び12月分行事予定について
5. 記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6. 会議の概要	<報告> 教育長報告 <専決処分報告> 報告第6号 平成18年度12月補正予算編成の議案提出について <その他> (1) 市内公民館における自動販売機の設置について (2) いじめ問題の実態調査について

太田委員長	<p>それでは定刻が参りましたので、平成18年第12回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、小野委員さん、宇野委員さんをお願い致します。会期は本日一日限りと致します。前回11回の定例会会議録の承認は小野委員さん、栗田委員さんにご署名を頂いております。それでは教育長さんからの一般報告をお願い致します。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>11月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>1日 愛媛スポレク祭2006に出場する選手役員の打ち合わせ会が行われました。大会は11月5日及び12日に松山市を中心に行われ、新居浜市からは競技部門に269人、レクリエーション部門に183名の選手をはじめ、役員も含めると455名が参加し、競技をとおして親睦が深められました。</p> <p>4日 第21回新居浜市駅伝競走大会兼第50回新居浜市中学校駅伝競走大会が晴天の下、陸上競技場を発着とした河川敷コースで開催されました。今年度より校区対抗に加えて、スポーツ少年団対抗種目も実施されました。校区対抗は3チーム、スポーツ少年団8チーム、中学校男子17チーム、中学校女子17チーム、高校男子1チームの監督選手約400名の参加で開催され、多くの市民の応援がありました。校区対抗種目は、1位角野校区、2位垣生校区、スポーツ少年団は、1位金子A、2位高津、中学男子1位東中A、2位東中B、3位西中、中学女子は1位東中A、2位川東、3位西中Aでした。</p> <p>5日 子どもたちの言いたいと言にくい思いを、「こころのことば」として表現してみようとして、新居浜中央ライオンズさんの協力を得て、「第1回新居浜市こころのことばコンクール」を開催いたしました。市内の児童・生徒から461点のことばが寄せられました。一つ一つのことばに一人の大人として考えさせられました。</p> <p>9日 第15回中国・四国リトルリーグ野球選手権大会への出場が決まった新居浜リトルリーグの選手や監督らの関係者が市長への報告に来られました。</p> <p>10日 平成18年度新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会が、『差別の現実から深く学び、同和問題について正しい認識を深め、全教育活動をとおして、差別をしない、差別に負けない、差別を許さない児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。』の研究主題に基づき、小学校では中萩小・新居浜小・金栄小・惣開小・多喜浜小、中学校では中萩中・川東中・北中学校で実施されました。</p> <p>11日 四国地区学校茶道連絡協議会第24回研修会が「学校茶道の充実」を目指して開催されました。子どもたちが置かれている状況を振り返って見たとき、いろいろな地域の方々のご支援が子どもたちへの</p>

こころの支えになります。平成18年度愛媛県中学校新人大会が開催され、バドミントン女子 中萩中優勝、北中準優勝、バドミントン男子 中萩中準優勝、バスケットボール男子 船木中3位、卓球男子 南中準優勝という結果になりました。更なる練習で心と体を鍛えて、来年を期待したいものです。

12日 第22回新居浜愛球会チャリティー大会が市営野球場で開催されました。三振もエラーも、ホームランもチャリティーの対象となる中で大変和やかな雰囲気が見られました。

中萩公民館設立60周年記念式典に校区の方々が集まり、盛大に執り行われました。また、記念碑の除幕や記念講演として「十河信二に学ぶ・その気骨の原点について」と題して、内藤雅行先生のご講演が行われました。愛媛県民文化祭協賛事業として、ヨシイバレエ芸術学園の50周年記念の「ジゼル全幕」等が上演されました。市制70周年記念プレ事業 移動図書館車更新記念講演会「子どもたちに本の楽しさを」が、大阪府の豊中市子ども文庫連絡会の安達みのりさんらの協力を得て開催されました。多くの関係者に来場してもらい、地域のさまざまな取り組みや読書推進につながる工夫は大変参考になり、また、新鮮な気がしました。また、泉川中学生も参加する、新居浜バイパスであいロードがスタートしました。これは、泉川校区連合自治会が国道11号新居浜バイパスの1.9キロメートル間を道路ボランティア活動に参加することになったからです。生徒たちの社会参加を積極的に応援していきたいと思います。

14日 平成18年度小・中学校音楽発表会が文化センター大ホールで、小学校16校中学校12校の参加を得て開催されました。平成18年度「新居浜市児童生徒をまもり育てる協議会」連絡会議が開催され、全国各地で児童生徒のいじめによる自殺に対して、新居浜市としての各校区での、いじめの把握について、防止・解決の即応体制について、学校・保護者・地域との連携について、今後の取り組みと課題について班別に協議が行われました。これらの取り組みを生かし、いじめを解消していきたいものです。

17日 新居浜市納税表彰式が新居浜市、新居浜市納税貯蓄組合連合会の主催として開催されました。今年度の「中学生の税についての作文」募集では、1309点の応募があり、25人の入選者と作文募集協力校として北中、泉川中、大生院中、別子中の4校が表彰されました。また、平成18年度愛媛県教育委員会障害児教育教育課程研究指定校研究発表会が浮島小学校を会場として開催されました。愛媛県全域から特別支援教育の確かな取り組みを求めて、多くの教員が集い、熱心に研修を行っていました。浮島小学校は全校体制による特別支援教育の取り組みを報告しました。特殊学級においても、通常の学級においても、一人一人の教育的ニーズに応えるきめ細やかな指導は、障害を

もつ児童・生徒だけにとどまらず、すべての児童・生徒に生きて働くものであることを再認識した一日でした。

18日 中学校の部の「子どもと教育を語るつどい」が、『夢を語るう学校を考えよう』と今年は特別に「安心・安全な学校生活を考えよう」のテーマを取り上げ、市内の11校から多様な意見が提案されました。市内の中学生の積極的な意見交換から、新たなつながりができるように育てていきたいものです。また、市内の方から、いじめに対しての積極的な取り組みを期待されての「すくすくと みんななかよく いじめなし」、「やさしい心で助け合い みんなの力で明るい未来」と揮毫された焼き物が贈られました。

19日 第26回愛媛県中学校駅伝競走大会兼第14回全国中学校駅伝大会県予選で東中学校が、男女とも、四年連続優勝するという成果を残してくれました。また、新居浜市から参加をした学校の健闘が目立ち、10位以内に男子3校西中・角野中、女子は5校川東中・西中・北中・角野中が入りました。これも11月の上旬に実施されている市内大会があり、身近な目標とするものがあることで練習に力が入っていると思います。教育活動の一つの成果として考えていきたいと思います。東中学校の男女の全国大会での活躍を期待したいものです。

24日 泉川公民館において、伊予地区の公民館主事14名との交流研修会が開催されました。当日は、本市のさまざまな分野で活躍している市民活動のリーダー6名から、「公民館・公民館主事に望むこと」と題した意見提言をいただき、その後、3班に分かれて意見交換を行いました。公民館が地域づくりの拠点としてどのような地域活動にかかわっていくべきか、有意義な意見交換が行われました。

26日 旧広瀬邸において、プロ棋士が教える「大人と子どもの将棋教室」が開催されました。この事業は、子ども夢基金の助成を受け、日本将棋連盟新居浜支部が今年度初めて開催したものです。会場の広間には、市内の将棋好きの親子連れ約100名が参加し、日本の伝統的な遊びである将棋について、中萩中卒業生の川崎大地三段らから楽しく教わりました。将棋の世界の奥深さを知る貴重な機会でした。今後も新居浜支部では各校区でさまざまな機会を活用して「子ども将棋教室」を実施していくとのことです。また、平成18年度県民文化祭『三曲・日舞・能楽・琵琶公演』が市民文化センターで開催され、11団体、146名の出演、また、中萩中学校生徒による琴の演奏などがあり、日本の伝統文化の奥の広さを感じられました。また、愛媛県体育指導委員協議会東予地区研修会が開催されました。研修会は今治市、西条市、四国中央市、新居浜市体育指導委員131名の参加により、カローリング及びシャフルボードを実技を交えて行うことにより相互の親睦が図られました。

27日 第2回小・中学校長研修会が、「マネジメント能力を備えた管

	<p>理職をどのように育成するか」との演題で、新居浜市役所経済部長 河村 徹氏に講演をお願いし、企業から見た教職員の資質の向上について研修を深めました。</p> <p>1日 いじめ問題について、さらにいじめ情報等のアンテナを広げるために教育長への直接メールとして「いじめ等相談メール」が開設されました。メールは、市のホームページの「お知らせ」欄から「いじめ等相談メール」の様式が現れ、記載後は送付のボタンを押せば簡単に送付できます。</p> <p>3日 第31回市P連音楽発表会が市内26校が15グループの団体として参加され、夏休み以降での練習の成果が発表されました。広瀬歴史記念館では、10月21日から12月3日まで、特別企画展「広瀬幸平・伊庭貞剛と義山和尚」が開催され、小・中学生421人を含む、1536人の入館者がありました。これは、広瀬幸平・伊庭貞剛と、彼らの思想や行動に大きな影響を与えた天竜寺の義山和尚との交流の様子を、品川弥二郎らとの交流も交えながら紹介したものです。10月28日には、高齢者生きがい創造学園で、末岡名誉館長による記念講演会「橋本義山禅師と広瀬幸平・伊庭貞剛」を開催し、98名の参加者がありました。</p> <p>4日 元浮島小学校教諭でご退職されました、加藤佳子先生のご両親から、「生前中、浮島小学校児童の皆さんから、元気をもらっていた」お礼の気持ちとして、本を贈っていただきました。「加藤佳子先生なかよし文庫」と名づけられ、贈呈式が行われました。</p> <p>5日 第5回新居浜市議会定例会が持たれ、議案が提案されました。</p> <p>6日 第14回全国中学校駅伝大会に県代表として四年連続出場することになった東中学校の男女選手・校長・監督が市長へ報告に来られ、優勝の喜びと共に、全国大会へ向けての豊富を語ってくれました。活躍を期待したいものです。</p> <p>7日 新居浜市学校保健研究大会が船木小学校を会場として開催されました。</p> <p>9日 差別をなくす市民の集い「ハートFULL新居浜」が開催されました。</p> <p>その他、12月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>12日から14日まで本会議一般質問</p> <p>14日・15日愛媛県学習状況調査（各学校小5・中2）</p> <p>16日 全国中学校駅伝大会東中学校男・女チーム出場</p> <p>18日 福祉教育委員会</p> <p>21日 本会議委員長報告討論採決</p> <p>23日 天皇誕生日</p> <p>25日 公立幼稚園・小中学校第2学期終業式</p> <p>28日 仕事納め</p>
--	--

	<p>以上で、一般報告を終わります。</p>
太田委員長	<p>はい、ありがとうございました。ただ今のご報告についてご質問、ご意見ございますか。</p>
栗田委員	<p>こころのことはコンクールや子ども夢基金での事業を実施した事を、市民の方に知らせる今後の予定はありますか。こころのことはコンクールは愛媛新聞に掲載があり、市民の方が見られたとは思いますが、子ども夢基金でのプロ棋士が教える「大人と子どもの将棋教室」についてですが、夢基金の積立については市政だよりに掲載されていましたが、そのような実際の活動状況など、その後はどうであるか等聞かせて頂きたいなと思います。</p>
阿部教育長	<p>先ほどの子ども夢基金は、新居浜市のこども夢未来基金ではなく、国の助成を受けたものです。</p>
栗田委員	<p>はい、わかりました。</p>
池内総括次長	<p>こころのことはコンクールの内容は市政だより1月号に2ページの特集を組みまして、優秀作品等を原文のまま掲載する予定にしております。</p>
栗田委員	<p>それは子どもさんの名前は実際に出ているのですか。</p>
池内総括次長	<p>はい、ご本人と保護者に了解を取りまして名前を出しております。</p>
太田委員長	<p>その他ございますか。 それでは専決処分の報告 平成18年度12月補正予算編成の議案提出について事務局の方からお願い致します。</p>

池内総括次長	<p>議案書の 8 ページをご覧ください。 (資料に基づき説明) 以上で説明を終わります。ご審議をお願い致します。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明についてご質問はございませんか。 防災学習の為にと言っていたのですがよろしいでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>先程にありました、防災学習のための自動車借り上げの件ですが、これは今年設置した“こども夢未来基金”から防災教育の為に資金を使っています。</p>
太田委員長	<p>基金からの費用という事ですね。その他よろしいでしょうか。それではただ今の、平成 18 年度 12 月補正予算編成の議案提出についてご承認を頂ける委員さんは挙手をお願い致します。全員挙手ですので議案どおり承認致します。その他のご報告について、覚書について説明をお願いします。</p>
池内総括次長	<p>資料にございますが、飲料メーカーからメッセージボードを搭載した自動販売機の設置について提案を頂きました。普段は時事通信社などのニュースが流れるのですが、災害が起きたり台風等が近づいてきた場合に、避難勧告等をメッセージボードに流すという事と、避難勧告等が出された場合にはその自動販売機に内蔵してある飲み物を無料で提供して頂けるという事です。公民館は全て避難所として指定をされておりまして、公民館に設置するという事で各公民館と飲料メーカーと相談中です。11 月末現在で 13 ヶ所に設置しております。自動販売機設置にあたり、当然電気代がかかるのですが飲料メーカーの方で負担をして頂けます。また、自動販売機の売上の一定額を教育委員会の方へ頂くという契約内容になっております。平成 16 年の災害の経験を踏まえ、そういった自動販売機の設置によっていろんな情報や飲み物の提供をして頂けるという事で設置に向けて対応しております。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。これから設置されるのですか。</p>

池内総括次長	<p>いえ、11月末で既に13ヶ所は設置済みで、他の所はいろんな状況で設置が少し難しいようです。あと1ヶ所は協議が必要だと思います。たぶんこの13ヶ所で完了するのではないかと思います。このメッセージボードは、公民館や地域の行事等の案内にも使えるので、これからメッセージボードの発信の仕方を公民館と協議していき、設置することによって地域の行事に一人でも多くの方がご参加頂けたらと考えております。</p>
太田委員長	<p>報道されたのでしょうか。</p>
池内総括次長	<p>最初は、消防の方に設置しまして、これは消防と飲料メーカーの契約でしたが、先程申し上げた情報を発信できる、また避難所となった場合に飲み物を提供していただけるという協定を6月30日に結びました。</p> <p>今回は、飲料メーカーから避難所としての公民館へ自動販売機の設置の提案があったわけです。6月の協定締結についての報道はありましたが、特に公民館での設置についてはありませんでした。</p>
太田委員長	<p>役立つものなので広く知られるといいなと思います。</p>
栗田委員	<p>公民館だよりのお知らせにもありましたが、飲料メーカーを宣伝するのではなく、このようなメッセージボードがあるということを宣伝する必要はあると思います。</p>
池内総括次長	<p>はい。メッセージボードの使い方もマスターし、地域の方たちへ様々な情報をお知らせしたいと思っております。また地域の方へメッセージボードの設置を周知したいと思っております。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。その他、教育長さんから報告もありましたが、教育長直々にメールで相談を受け付けるという事の内容についてお知らせがありましたらお願い致します。</p>

阿部教育長	<p>はい。毎月実施しております“いじめ調査”について11月中の分は小学校で9件確認されております。そのうち解消したのが5件、指導が続いているのが4件で、中学校では15件確認されており、解消したのが10件、指導中が5件と12月初めに報告されております。この調査は9月から始めておりますが小・中学校合わせまして9、10、11月で解決されたものが19件あります。指導が継続中なのが9件です。尚、12月1日から始めました教育長へのメールは、今日までに6件のメールがきております。12月1日に、積極的な取り組みをしてくれて嬉しいといったような内容が1件、本人が学生時代にいじめを受けていた時の気持ちを詩に表したものが1件寄せられ、あと1件は批判、あとの3件は具体的な内容のメールで、小学校が1件、中学校が2件です。その件に関しまして、1件は今日入っておりましたので今メールを返している途中なのですが、2件は母親と連絡を取り状況確認や相談は直接話をしたりしますが、この場合、子どもが母親に話してなかったので、母親に話すように促し今は母親がサポートしてくれています。そういったかたちで6件のメールが寄せられました。</p>
太田委員長	<p>まだ日が浅いのですが6件もあったのですか。いじめ調査の件でご意見ございますか。</p>
宇野委員	<p>資料を見ていますと、いじめ問題の実態調査で解消したものが19件、継続中のものが9件というところで少し変な気がするのですが、いじめがわかって解決するまでの9月、10月、11月の3ヶ月間にわたっていじめが続いているという解釈をすると、深刻だと思います。「いじめは解決したけど指導が継続中」というように、「いじめが継続しており、現在指導中」というのを指導中というような表現にしないと、指導したのにまだ、いじめが続いているように感じられます。</p>
阿部教育長	<p>この内容につきましては、ひやかし・からかいが全てです。注意をすると反省するが、2・3日するとまたからかいが発生するという事なので今も指導が継続しております。</p>
宇野委員	<p>「現在指導中(いじめが続いている)」といった表現をして頂かないと、いじめが続いているという表現は指導したのにまだ継続しているのかと取り間違えてしまいます。</p>

阿部教育長	<p>解決したもので中学生はすぐやめるのに比べ、小学生はふとまた同じになりがちで継続している状況なので学校がカウントに入れているということです。</p>
宇野委員	<p>もう一つ、資料の実態調査のところにいじめの発見のきっかけは小学生で、担任3件・他の教師2件・それ以外で4件、保護者からや本人からというのがあり、いじめは隠れてするので学校の先生が気付いたのが5件、それ以外からが4件でこんなものかなと思いますが、中学生のいじめの方が巧妙かもしれませんが、先生が気付いたのが3件で、それ以外からが12件とちょっと寂しい気がします。子どもから先生の目が離れていっていると言うと、言い過ぎかもしれませんが、今深刻な状況が“いじめ、命”というがあるので、いろんな機会にもっと子どもたちを見て欲しい・もっと子どもたちと関わって欲しいと思いますので指導をして頂きたいです。せめて先生が気付くのと、それ以外と半分半分ぐらいでないと、学校の先生への不信感が出てくる可能性があると思います。中学校の実態からいうと巧妙でなかなか分かりにくいかもしれませんが、私の希望です。</p>
太田委員長	<p>他にございますか。小野委員さん。</p>
小野委員	<p>指導が2ヶ月・3ヶ月間にわたっても指導の結果が出ていないのは、問題です。いじめが発見されてすぐ解決した事例が10月までに18件、11月が19件で解決された事例がたくさんありますので、どういふふうの問題解決を図ったのか、また解決されない場合はどこに原因があるのかを細かく調査をして頂いて、いじめがあるという事実が発見されたらすぐ動き、解決を図るという姿勢が必要ではないかと強く思います。</p>
栗田委員	<p>子どもと教育を語るつどいの中で、アンケートの取り方について、書き進めていくといじめられているのではないかとと思われるという意見があったのですが、その意見を生かしてアンケートの取り方等変えているのですか。</p>
太田委員長	<p>各学校によってやり方は違うのでしょうか。</p>

阿部教育長	<p>項目はこちらの方から出しております。「書く」「書かない」で、書いている子は何か訴えているのではないかという見方をされる事があるため、どうしても書かなければならない項目を入れているとか、そういうふうなかたちで取るようにしています。学校によっては記名をさせるところもあり、ないところもあります。例えば、教育委員会がした場合にはわからないのですが、学校でする場合は、学級担任がいて集めるので何年何組の子どもが訴えかけていて、それが集める際の席順等で誰が書いたものかという事もほぼ見当がつくと思っております。ですから学校でいじめを受けている子どもの把握と、それに対してどう指導していくかわかると思います。先程、宇野委員さんが言われましたが中学生の場合、いじめを受けている子どもは思春期のプライドでしょうか、親にも教師にも言おうとせず隠そうとします。そこで何かのきっかけになればという事から教育長メールを始めました。実は教育長メールに寄せられた中学生からの3件のうち2件は携帯電話からの接続メールで、あと1件は家庭のパソコンからです。携帯電話を持っている子どもが訴えてきています。教育委員会としては、携帯電話を学校に持ち込まさないようにと呼びかけているのですが、このような緊急避難的なものであれば、非常に役立つという事と私自身思っております。いじめの把握というのは、出てきた数字は解決しなければならないという強い気持ちを持っております。教育委員会から学校現場に継続中のものについても聞いたりしております。いじめ問題の実態調査の中に出てきていないものについて、いじめ等相談メールで相談してきたその子どもが次回の調査時に言うか言わないか、その辺りの動きを見守ろうと思っております。</p>
太田委員長	<p>先日、別件で学校に行った際に聞いてみたのですが、市の調査に合わせて学校で独自にアンケート調査を実施しているところもあるようなのですが、いじめを多数把握できた学校とそうでない学校とではアンケートの取り方の違いはありますか。</p>
阿部教育長	<p>例えば私の経験では、アンケート用紙を持って帰らせ家庭で記入して、保護者も目を通してサインもらって封筒に入れて学校担任に出させておりました。提出がなかった場合には家庭へ学級担任から確認をさせておりました。またアンケートの項目に、いじめの事実がなく、書くことが無ければ校歌を書きなさいと記載し、いじめられている子どもだけが書くのではなく、全員に書かせておりました。</p>

<p>栗田委員</p>	<p>教育長がされていたような事をしている学校はいいのですが、子どもたちからあの声があがったという事は、実際書きづらい部分があるはずなので教育委員会の方でもう一度再検討をして頂きたいと思います。やはりあの声があがる事自体が問題だと思いますので今のまま置いておくのはいけないと思います。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>その他いじめ調査の件はよろしいでしょうか。栗田委員さんから、子どもと教育を語るつどいの話がありましたが、先月小・中学校とも無事に終わったわけですが、その中で出てきた意見に対して取り決めですとか、検討中のご意見がございましたら、ここで検討したいと思います。</p>
<p>池内総括次長</p>	<p>先程、補正予算に出させて頂いたのですが、防災学習の関係で出てきたのですが18年度、19年度と全市的に防災についての学習する機会をつくっていただけると考えております。</p> <p>垣生で、ISOの環境サミットの実施という提案があり、検討しております。また、新居浜南高等学校の生徒さんたちが、別子銅山のガイドブックを作成したのですが、19年度にはその延長上で、新居浜の産業の歴史を学ぶような取り組みもできたらと思います。私の方からは以上です。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>参加された委員さんの感想ですとか、次回に向けてのご提案がありましたらお願いします。</p>
<p>栗田委員</p>	<p>全国人権・同和教育研究大会が松山であり、参加させて頂いたところ、南高のガイドブックが展示されていたり、工業高校の車椅子のブースがあり、訪ねてみると評判が良かったようです。このようにいろんな方に見て頂く機会を得ましたが、地元の小・中学生がその実態を知らないというのは残念なことなので、事業展開のなかで小・中学生にもっとそれを活用してもらいながら新居浜の歴史についても知ってもらえたらと思います。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>その他よろしいですか。小野委員さん。</p>

小野委員	はい。環境サミットは来年度、前向きに進む事を願っております。
太田委員長	子どもと教育を語るつどいに私も今年で3回目の参加をさせて頂いて、最初はこんなものが欲しい・あんなものが欲しいという事が多かったのですが、回を重ねるごとに提言や意見が増えていったので時間が足りない気が致しました。特に中学生の場合は、せっかくの意見に議論が深まらないまま終わったような気がします。討論ができる会もいいなと思いました。
池内総括次長	来年は市制70周年という記念すべき節目の年なのですが、小・中学生の子どもと教育を語るつどいは70周年の提案のなかで、こども議会をという提言を頂きましたので、来年度の子どもと教育を語るつどいは6階議場を貸して頂いて議会をするという形式でさせて頂きたいと思います。詳細はまだ決まってないのですが、子どもが議員になり質問をして、市長や教育長が質問に対して答えるというようになります。
太田委員長	その他ご連絡などございませんか。
栗田委員	先程の全国人権・同和教育研究大会に関連しまして熱い思いの方々がたくさんいらっしゃって感動をもって参加させて頂いたのですが、その3ヶ所に行って感じた事です。質疑応答の際、全国から来られた7～8人の先生方の話を聞きとても情けなく思いました。私自身、会議録を見るたびに自分の表現の拙さに自己嫌悪しておりますが、先生なのに話がまとまっていなかったり、質問に答えられなかったり表現不足が目立ち、それでは困るなど実感致しました。ですから、新居浜市の子どもに教える先生方にも、何が言いたくて質問に対しての答え方や表現力などを切磋琢磨して高めて頂きたいと思いました。大生院では、子どもたちへの表現力を取り組まれています。先生の質の向上も考えて頂けたらなと思います。
太田委員長	考えていることを正確に伝えるというのは、なかなか難しいことですよね。

<p>栗田委員</p>	<p>ある程度の訓練で時間内に伝えるという事は出来ると思うので、それも含めて質の向上をしていただきたいと思います。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>その他ございませんか。 次回の定例会の日程は1月11日16時からと致します。 これをもちまして第12回新居浜市教育委員会定例会を閉会致します。ありがとうございました。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>

--	--